

国語科学習指導案

令和元年10月3日(木)

1. 国語部会の重点

- ・興味、関心をもてるような課題提示の工夫を行う。
- ・事実や根拠を正しく読み取らせるための指導の工夫を行う。
- ・個に応じた手立てを講じることで、粘り強く考えさせる。

2. 単元名

しゃしんをつかって、せつめいしよう
教材名「さけが大きくなるまで」

3. 目標

○さけの成長について、季節や場所、さけの様子の移り変わりを考えながら、内容の大体を読むことができる。

4. 指導観

本単元は、読む領域の説明文教材である。1年生では「だれがたべたのでしょうか」「すずめのくらし」等の説明文を通して、説明文の基礎となる問いと答えを捉えるということを学んできた。そして2年生の説明文の学習では、学習の重点が、問いを受けて答える際の、考えの筋道を捉えるということへと移っていく。本教材「さけが大きくなるまで」は、これまでの教材のように問いに対して簡単な答えが示されて終わるのではなく、問いを受けてさけの成長過程を詳しく説明し答えを導き出していく教材となっている。そのため、時間的順序の把握が重要である。問いを詳しく解説していく過程で、季節や時間を表す言葉、さけの大きさを表す言葉などに着目し、その移り変わりを捉えることがポイントになる。

【削除】

5. 単元計画

(1) 評価規準(移行措置期間のため現行学習指導要領に基づく)

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解
ア さけの成長の過程に興味をもち、大事な言葉や文章に気をつけて読もうとしている。	ア 季節や場所、さけの様子など、時間的順序を捉える手がかりになる言葉に気をつけながら、文章を読んでいる。 イ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。	ア 成長の過程の時々でのさけの行動や成長の様子に注意しながら、読んだり話したりしている。

(2) 単元の指導計画

	時間	主な学習活動	教師の支援	評価
第一 次	1	<p>○「さけ」について知っていることを発表する。</p> <p>○教師の範読を聞き，初発の感想を書く。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p>	<p>・題名をもとに，本単元の学習活動に興味をもつことができるよう，生物としての「さけ」に焦点を当てる。</p> <p>・初めて知ったこと，不思議に思ったこと等，あらかじめ感想を書く際の視点を与えておく。</p> <p>・「写真を使って，さけの成長していく様子を説明する」という学習の流れを確認する。</p>	関ア
	2 3～7 (本時5)	<p>○問いの文を見つけ，さけの成長の様子を読み取るには，何を表にまとめていけばよいか考える。</p> <p>○(二)段落のさけの様子を読み取る。</p> <p>・表に「時」「場所」「大きさや様子」についてまとめ，さけがどのように卵を産むのかを読み取る。</p> <p>○(三)～(七)段落まで，段落ごとにさけの様子を読み取る。</p> <p>・表に「時」「場所」「大きさや様子」についてまとめ，さけがどのように成長しているのかを読み取る。</p> <p>○前時と比べ，どこが成長したかを考える。</p> <p>○さけの成長の様子を絵に表し，自分の言葉で説明する。</p>	<p>・「時」「場所」「大きさや様子」に注目して，さけがどのように成長していくのかをまとめることを確認する。</p> <p>・成長の変化とその時特有の事柄とを区別して整理していく。</p>	読ア 読イ
第三 次	8	<p>○前時まで書いた表と絵をもとに，さけの成長について振り返る。</p> <p>○写真だけでは表現できないことは何か考える。</p> <p>○言葉で説明しなければならない点をまとめる。</p>	<p>・次時からの説明する活動に繋げるために，写真を見て言葉で補わなければならないことがあることに気づかせる。</p>	言ア
	9 10	<p>○写真の順にさけの成長の様子を説明し合う。</p>	<p>・成長の様子がわかりやすいか等，聞く視点を与える。</p>	
	11	<p>○どの写真からでも説明できるか聞き合う。</p>	<p>・さけの成長は循環しているので，どの写真から説明を始めても説明できることに気づかせる。</p>	

6. 本時案 (5/11)

(1) 本時の目標

○さけが大きくなる様子を、時や場所、大きさを表す言葉に気をつけて整理しながら読むことができる。

(2) 本時の指導計画

	児童の学習活動	教師の支援 ☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までのさけの成長の様子を振り返る。 ○本時の課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を想起させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> だい五だんらくから、さけのせい長のようすを読みとろう。 </div>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○第五段落を音読する。 ○大事な言葉（時・場所・大きさ）に印をつける。 ○前時までと比べて、さけがどのように変化しているか考えながら、印をつけたところをワークシートにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・時……一か月ぐらいの間 ・場所……川口の近く ・大きさ…八センチメートルぐらい ○読み取った大きさを確認し、それをもとに第五段落のさけの子どもを絵に表す。 ○描いた絵を使って、第五段落のさけが成長している場所を確認する。 ○時を表す言葉には、季節以外の言葉もあることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長の様子を捉えるための大事な言葉（時・場所・大きさ）に着目して音読するように伝える。 ・時→□, 場所→__, 大きさ→__のように、印をつけさせる。 ・この時点では、時を表す言葉を見つけることができない児童がいることが予想されるが、全体で確認する際に気づくことができればよいとする。 ・さけの成長の様子をより想像しやすいよう、ものさしで長さを測って実際の大きさを描くように伝える。 ・「川口の近く」とはどこを指すのか、本文の言葉をもとに考えさせ、これまでのさけの成長をまとめてきた模造紙を使いながら確認させる。 ・どのくらいの期間川口近くで暮らし、どのくらいの期間で大きく成長したのかを考えさせることで、季節以外にも時を表す言葉があることに気づかせる。 ☆さけの成長の様子について、時・場所・大きさを表す言葉を見つけながら読むことができる。 (※ワークシート)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○読み取ったさけの成長の様子を振り返り自分の言葉で説明する。(隣同士で聞き合う) ○本時の振り返りをする。 ○次時の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で読み取った大事な言葉（時・場所・大きさ）を入れて説明できているかという聞く視点を与える。 ・自分のレベルに合わせて、前時までに読み取ったさけの成長の様子から繋げて説明してもよいことを伝える。 ・次時は、第六段落を読み進めていくことを伝える。

